

学年だより

学び 伝え
前進する

令和6年11月8日
町田市立小山田中学校
第3学年 学年だより
第20号

合唱祭の作文を紹介します（その2）

【3組】（クラス曲「IN TERRA PAX」）

「合唱祭の経験を活かして」

中学生最後の合唱祭、僕は今まで以上に積極的に取り組みました。そんな中、僕はクラスのみならず練習していくうちに2つの大切なことを学びました。

1つめは他の人に合わせることです。全員練習で他のパートも一緒に歌うとき、自分のパートだけに集中して歌ってしまうと全体のバランスが崩れてしまいました。しかし、実行委員や先生が他のパートも意識するように頑張ってくれたおかげで少しずつ全体がまとまるようになってきました。本番でも他のクラスがどのパートもはっきり聞こえたと言ってくれたのでよかったです。

2つめは努力が無駄はないことです。合唱祭までクラス全員が精一杯練習に取り組みましたが入賞することはできませんでした。努力しても実らなくてがっかりしていましたが、先生が努力して今まで一番良い出来で合唱できたから努力は無駄になっていないと言ってくれました。努力が無駄になったと考えるより、努力して得られたことを探した方が良いことを知りました。

僕は今回の合唱祭で他の人に合わせることの大切さと、努力が無駄はないことの2つを学びました。これらのことを活かして、これからは他の人に合わせて協力して生活し、何か目標に向けて努力し、たとえその努力が実らなかったとしても、次の目標に進むためにその努力で得られたものを実感していきたい。

「ドラマじゃない合唱祭」

私は、3年生で中学最後の合唱祭を3年間で一番楽しい思い出にすることができました。

合唱祭前の2週間前から、家でアルトの音源を流してずっと練習をして頭に叩き込んでいました。みんなで学校で合わせるときに感じたことは、自分がつられないところはアルトみんなを導こう、私がつられてしまうときはみんなについていこうと思ったら、だんだんと「IN TERRA PAX」のバランスが良くなっているのを感じられて嬉しかったです。そのまま気づいたら、合唱祭前日になっていました。最終確認をして、次の日を迎える準備をしました。

当日は全学年うまくて、3年の学年合唱では、歌っている側からしてもとても上手くできたと思いました。私自身も、失敗したとしても最後なので全力で歌おうと思って歌いました。周りからの評判もよく嬉しかったです。

そしてクラス曲では、緊張で心臓の音がずっとドクンドクンと聞こえました。そして始まったら終わっていました。今まで通りではなく、心を込めて大きな声で歌えました。結果はそういい結果ではなく入賞できませんでした。とても悔しく感じました。頑張ったけど負けるというのは悪いことではなく、良いことだと知れたので、良かったです。だから、これからは負けるとしても全力で取り組んで、楽しんでいきたいです。

【1組】（クラス曲「ヒカリ」）

「最後最高の合唱祭」

私は最後の合唱祭でアルトパートになり、パートを引っ張っていけるような声量と音程の自信をもつという目標を立てました。そしてその結果良い意味で忘れられない合唱祭になりました。

アルトの音程について私は過去一番に難しいなとも思いながら練習していました。アルトだけがハーモニーに回ったり、ずっと同じ音程かと思ったら急にみんなと同じ音程になったりして、最初のころの練習はあまりはかどりませんでした。ようやく少し自信がつきはじめてきた合唱練習の日、私はたぶん人生で初めて誰かに、音程がわからなくなったら私の声を頼りに歌っているとわれ、初めに書いた目標が叶ってきていることを感じるうれしく思いました。この言葉はその後の自信にもなったし、これからも忘れることのないものになると思いました。

この合唱祭では吹奏楽部として最後の発表の日でもありました。見る楽譜を間違えたり、手を振りづらかったり、いいことではなかったけど、最後の曲では、楽器を上げたところで拍手を浴びて感動したし、吹奏楽部に入ってよかったなと心の底から思えるものでした。

私はこの合唱祭、今までで一番懸命に取り組み、いろんなことがあった末、今までで一番印象に残る合唱祭にすることができました。

「大成功した合唱祭」

僕は、この合唱祭で心に残ったことが2つあります。

1つめは、「本番で一番良かったと思える合唱ができた」ことです。まだ練習が始まったばかりのときには、女子の声が全然出ず、正直どうなるだろうと思っていました。けれど、練習を重ねていくと、賞を獲れるのではないかと期待してしまうほど、男子と女子がバランスのとれた合唱になっていきました。そして迎えた本番で、賞を獲ることはできなかったけれど、歌い出した瞬間に今までで一番良い合唱ができていると思いました。たくさん練習を積み重ねてきていた成果を最大限に発揮することができて、最後の合唱祭を自分に悔いのない終わり方ができて、とても心に残った合唱祭にすることができました。

2つめは、「実行委員として最後までみんなを引っ張っていった」ことです。僕は去年も実行委員として合唱祭に取り組んだけれど、去年は自分にとって納得のいく実行委員にはなれなかったです。けれど今年は、最後まで自分の役割を全うし、クラスのみみんなをまとめ、引っ張っていくことができました。最後の合唱祭に実行委員として参加できたことは、とても良い経験になったし、とても心に残る経験になりました。

最後に、この合唱祭で僕は、一番良い合唱ができたと思っています。惜しくも賞は獲れなかったけれど、僕にとっては「大成功」の合唱祭になりました。